※令和４年度以降入学生用

学校番号	324

令和８年度　芸術科(音楽)

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	ＭＯＵＳＡ　Ⅰ　（教育芸術社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽を聴くこと」の３つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
・音楽の学習は、クラスメートとともに実際にやってみて、試してみてこそ価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、豊かな情操を養う。

a 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に着けるようにする。

b 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫したり、評価しながら自ら味わって聴くことができるようにする。

c 音楽の幅広い活動に取り組み、愛好する心情を育むとともに音楽によって生活や社会を豊かなものにしていく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知り､それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり､それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	イメージをもって豊かな声で歌いあげよう	【歌唱】 ・校歌 ・翼をください ・ありがとう ・見上げてごらん夜の星を ・風になりたい ・野ばら ・サザエさん(ボイスパーカッション)	a:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	・観察 ・演奏の聴き取り	・ワークシート	・観察 ・ワークシート
	リコーダーアンサンブルを楽しもう	【器楽】 ・小さな世界 ・翼をください ・メヌエット ・ドラえもん	a:アンサンブルするために必要なリコーダーの基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表している。 b:旋律と和音の特徴を知り、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、を生かして表現を工夫している。 c:リコーダーの基礎的な奏法の特徴に関心をもち、アンサンブルで演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	・観察 ・演奏の聴き取り	・ワークシート	・観察 ・ワーク　シート
	鑑賞のファーストステップ	【鑑賞】 バレエ音楽 ボレロ(ラヴェル)	a：バレエ音楽に関する知識を身につける。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 c:管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	・観察 ・演奏の聴き取り	・ワークシート	・観察 ・ワーク　シート
	鑑賞のステップアップ　ミュージカル	【鑑賞】 ミュージカル「サウンドオブミュージック」	a：ミュージカルに関する知識を身につける。 b:声の音色と表現上の効果との関わりを知り、感受し、総合芸術として素晴らしさとその演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、劇音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって鑑賞させる。 c:総合芸術劇音楽の特徴に、関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	・観察 ・演奏の聴き取り	・ワークシート	・観察 ・ワーク　シート

※令和４年度以降入学生用

後期	ハーモニーを味わおう	【歌唱】 ・アメイジンググレイス ・命のなまえ ・想い出がいっぱい	a:曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能（発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方）を身に付け、協力し合い創造的に表している。 b:旋律、ハーモニーを知り、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、合唱をする学習に主体的に取り組もうとしている。	・観察 ・演奏の聴き取り	・ワークシート	・観察 ・ワーク シート
	ギターでアンサンブルに挑戦しよう	【器楽】 ・音階1 ・ポルカ ・エーデルワイス	a:弾き語りするために必要なギターの基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表している。 b:旋律と和音の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、を生かして表現を工夫している。 c:ギターの基礎的な奏法の特徴に関心をもち、弾き語りで演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	・観察 ・演奏の聴き取り	・ワークシート	・観察 ・ワーク シート
	合奏に楽しむ	【器楽】 ラバースコンチェルト	a: イメージに沿った旋律やリズムの組み合わせ方、記譜の仕方など必要な創作技能を身に付け、創造的に表している b:打楽器アンサンブルの体験を通して合奏の楽しさを味わわせる。 c:ハンドベルの音階の特徴に関心をもち、イメージをもって音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。	・観察 ・演奏の聴き取り	・ワークシート	・観察 ・ワーク シート
	鑑賞のステップアップ	【鑑賞】 組曲「惑星」(ホルスト)	a：組曲に関する知識を身につける。 b:音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて解釈し、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 c:音楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	・観察 ・演奏の聴き取り	・ワークシート	・観察 ・ワーク シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度